

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.178

2010年5月発行

財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

「大学セミナーハウスと 変革の時代」

大学セミナーハウス
前評議員 郷 通子

一昨年の夏、セミ時雨の中、大学セミナーハウスを訪れた。懐かしい本館の建物が眼前に現れた。訪問の目的は「生物物理若手夏の学校」の最終日に、講義をするためであった。講義への注文は、物理学を学んでから生物学へ、自らの興味の趣くままに研究を進めていった結果、21世紀というゲノムの時代に生命情報学にたどり着いた研究の紹介に加えて、男女共同参画についても話をするのであった。研究も男女共同参画も、私にとってはどちらも切り離せない。私的ヒストリーも混ぜながら自然体で話すことができた。

昼食の時間は若手の研究者たちに囲まれ、熱心な質問にも充てられた。博士号を取得しポストク生活も経験し、今は研究職についていないが、やはり研究がしたいので職を探している人もいて胸が痛んだ。学長職のスケジュールが許せば、せめて一泊して、ゆっくりと語りたかったとの思いが残った。自らの大学院生の頃と比べて、話題のひろがりには、大きな違いがあった。研究内容に関わる質問だけでなく、男性が育児休暇についての質問や、バイオテクノロジーの起業を考えている人からの質問もあった。大学で教える教員にも、専門の研究一筋ではなく、日本の男女共同参画の遅れや、企業の研究に対する理解など、広い視野での見識が求められる社会の急速な変化がある。

私が学部生のころは、まだ、このセミナーハウスは無かったので、「物理の若手の夏の学校」は暑い都会を離れ、長野県の木崎湖や志賀高原などに出かけて、1週間くらいを使ってゆっくりと講師を囲んで討論したり、山登りをすることが、毎年の楽しい行事だった。その後、大学の教員になってから、このセミナーハウスには「生物物理若手の夏の学校」や、国際会議など、何度かお世話になった。静かな自然に恵まれたこの位置は、都心から程よい距離にあって、忙しい現代人が訪れるには、とって

おきの場所である。

大学セミナーハウスは国公立の大学連合による共同運営の形態で、1966年に開館、40余年の歴史をもつ。国公立の枠を超えて、わが国の大学教育の変革が求められている現在、40年以上も前から大学のあるべき姿を共有して、大学セミナーハウスの共同運営が実を結んできたことは嬉しい驚きである。現在は政府による財政補助を受けずに会員校、利用者によって、そして諸先輩をはじめとする熱烈な支援者(千人会)のご寄付によって運営されている。セミナーハウス・ニュースには千人会の方々の近況、大学セミナーハウスを利用した団体や個人のリスト、館長室からのエッセイなど、親しみやすい紙面には、何年もお目にかかっている方々のお元気な近況が盛り込まれているのも魅力的である。近年の運営・経営へのすばらしい脱皮は佐藤東洋土理事長と荻上紘一館長の献身的なご尽力の賜物であることを、多くの方々が指摘されている。館長の決断で、大学セミナーハウスの改装(シャワーやユニットバスの設置、トイレの増設、女子学生の要望に応えたウォシュレットの設置など)と食堂の改善を通して、変革の時代に「学生と教師が起居を共にしながら学問する」活動の喜びが、これからも益々拡大していくことを心から願ってやまない。

●郷 通子(ごう みちこ) プロフィール

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 理事(非常勤)

専門:生物物理学、生命情報学、進化学

略歴:1967年3月 名古屋大学大学院理学研究科博士課程

(物理学専攻)単位取得退学

1967年10月 理学博士(名古屋大学)

1967-1970年 コーネル大学化学教室博士研究員

1973-1989年 九州大学理学部生物学科(数理生物学講座)助手

1989-1996年 名古屋大学理学部生物学科教授

1996-2003年 名古屋大学大学院理学研究科教授(組織換えに依る)

1996-1997年 東京大学分子細胞生物学研究所併任(客員教授)

2001-2003年 名古屋大学評議員

2003年 名古屋大学名誉教授

2003-2005年 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部教授(学部長)

2004-2005年 学校法人関西総合学園理事

2005-2009年 国立大学法人お茶の水女子大学学長

2005年 長浜バイオ大学特別客員教授

2009年 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構理事(非常勤)

2009年 国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授

その他役職:総合科学技術会議議員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、文部科学省中央教育審議会委員、内閣府沖縄振興審議会委員、第20期日本学術会議会員、第21期日本学術会議連携会員、日本生物物理学会会長、日本進化学会会長、日本蛋白質学会副会長、日本分子生物学会評議員、日本生化学会理事、日本遺伝学会評議員など。

第121回理事会・第98回評議員会

実施日：平成22年1月25日（月）
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

【理事会】

出席者 9 名、書面による出席者10名、合計19名

【評議員会】

出席者10名、書面による出席者40名、合計50名

理事会および評議員会共通議題の「新公益法人への移行申請」「食堂（食事提供事業）の一般業者への分離移管」について審議がなされ、いずれも原案通り承認されました。

また、理事会議題の「最初の評議員選任方法」について審議がなされ、原案通り承認されました。

新公益法人移行のための「新定款案」、新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程案」、新定款案対応の「協力会員に関する規程案」についての協議もなされました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎報告事項

①平成21年度利用状況について ②平成21年度主催事業実施状況について ③平成21年度決算予想について ④平成21年度施設整備取り組み状況について ⑤敷地造成の状況について 等の業務報告がなされました。

◎協議事項

- ①新公益法人への移行申請を平成22年6月以降に行うことについて原案通り承認されました。
- ②食堂（食事提供事業）の一般業者への分離移管について原案通り承認されました。
- ③新公益法人移行後の新定款案についてご意見を伺い、原案のままでよいとの意見であったが、なお、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年3月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ④新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程（案）」についてご意見を伺い、原案のままでよいとの意見であったが、なお、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年3月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ⑤新定款案対応の「協力会員に関する規程（案）」についてご意見を伺い、書面によるご意見にそって修正することとし、さらに、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年3月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ⑥最初の評議員の選任方法（案）について理事会において審議を行い原案通り承認されました。

以上

- ・新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程案」についてご意見伺い
- ・新定款案対応の「協力会員に関する規程案」についてご意見伺い

◎理事会議題

- ・「最初の評議員選任方法」についてご承認

◎事務局からの報告事項

- ①平成21年度利用状況について ②平成21年度主催事業実施状況について ③平成21年度決算予想について ④平成21年度施設整備取り組み状況について ⑤敷地造成の状況について

以上

第122回理事会・第99回評議員会

実施日：平成22年3月30日（火）
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

【理事会】

出席者 8 名、書面による出席者11名、合計19名

【評議員会】

出席者 8 名、書面による出席者43名、合計51名

理事会および評議員会共通議題の「平成22年度事業計画（案）」「平成22年度収支予算（案）」について審議がなされ、いずれも原案通り承認されました。

また、理事会議題の「食堂事業の経営委託契約（案）」「最初の評議員選定委員会設置規則（案）」「最初の評議員選定委員会の評議員選定委員の選任（案）」について審議がなされ、原案通り承認されました。

新公益法人移行のための「新定款案」、新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程案」、新定款案対応の「協力会員に関する規程案」についての協議も理事会および評議員会委員会でなされました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎報告事項

- ①平成21年度利用状況について ②平成21年度主催事業実施状況について ③平成21年度決算見込について ④平成21年度施設整備取り組み状況について ⑤敷地造成の状況について ⑥留学生会館運営要項の改定について 等の業務報告がなされました。

◎協議事項

- ①食堂事業の経営委託契約について、理事会において審議を行い、株式会社ナルドとの契約案が原案通り承認されました。
なお、本議案については、荻上館長が議長をつとめました。（この議案の協議中は佐藤理事長は退席いたしました。）
- ②平成22年度事業計画（案）について原案通り承認されました。
- ③平成22年度収支予算（案）について原案通り承認されました。
- ④新公益法人移行後の新定款案についてご意見を伺い、さらに、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年5月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ⑤新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程（案）」についてご意見を伺い、さらに、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年5月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ⑥新定款案対応の「協力会員に関する規程（案）」についてご意見を伺い、さらに、本案に就いて意見があれば提出していただくこととし、最終的に賛否をお伺いするのは、平成22年5月開催予定の理事会および評議員会を予定することにしました。
- ⑦最初の評議員選定委員会設置規則（案）について理事会において審議を行い原案通り承認されました。
- ⑧最初の評議員選定委員会の評議員選定委員の選任（案）について理事会において審議を行い原案通り承認されました。

以上

平成21年度第2回常務理事会

実施日：平成22年1月25日（月）
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

（出席者）

佐藤東洋土理事長はじめ常務理事6名、監事1名、評議員会議長。

（主な議事）

第121回理事会と第98回評議員会への上程議題や、事務局からの報告事項の中の主要な項目について協議いたしました。

◎理事会および評議員会共通議題

- ・「新公益法人への移行申請」についてご承認
- ・「食堂（食事提供事業）の一般業者への分離移管」についてご承認
- ・新公益法人移行のための「新定款案」についてご意見伺い

平成21年度第3回常務理事会

実施日：平成22年3月30日（火）
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

(出席者)

佐藤東洋土理事長はじめ常務理事5名、監事2名、評議員会議長。

(主な議事)

第122回理事会と第99回評議員会への上程議題や、事務局からの報告事項の中の主要な項目について協議いたしました。

なお、次期評議員、役員の選任日程について意見交換がありました。

◎理事会および評議員会共通議題

- ・「平成22年度事業計画（案）」についてご承認
- ・「平成22年度収支予算（案）」についてご承認
- ・新公益法人移行のための「新定款案」についてご意見伺い
- ・新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程案」についてご意見伺い
- ・新定款案対応の「協力会員に関する規程案」についてご意見伺い

◎理事会議題

- ・食堂事業の経営委託契約についてご承認
- ・「最初の評議員選定委員会設置規則（案）」についてご承認
- ・「最初の評議員選定委員会の評議員選定委員の選任（案）」についてご承認

◎事務局からの報告事項

- ①平成21年度利用状況について
- ②平成21年度主催事業実施状況について
- ③平成21年度決算見込について
- ④平成21年度施設整備取り組み状況について
- ⑤敷地造成の状況について
- ⑥留学生会館運営要項の改定について

以上

第9回運営幹事会

実施日：平成22年3月10日（水）
場 所：桜美林大学四谷キャンパス

(出席者)

運営幹事10名。(総員15名)

「第9回運営幹事会」を次の通り開催いたしました。

◎第9回運営幹事会議事内容

1. 館長挨拶
2. 業務報告
 - ①平成21年度利用状況報告
 - ②平成21年度主催セミナー実施報告
 - ③平成21年度施設改修状況報告
 - ④敷地造成の状況
 - ⑤平成21年度決算見込
 - ⑥留学生会館運営要項の改正
3. 第121回理事会、第98回評議員会の議事内容について
理事会および評議員会共通議題
 - ・「新公益法人への移行申請」についてご承認
 - ・「食堂（食事提供事業）の一般業者への分離移管」についてご承認
 - ・新公益法人移行のための「新定款案」についてご意見伺い
 - ・新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程案」についてご意見伺い
 - ・新定款案対応の「協力会員に関する規程案」についてご意見伺い

理事会議題

- ・「最初の評議員選任方法」についてご承認
4. 第122回理事会、第99回評議員会の議案について
 - 1) 食堂事業の経営委託契約(案)について理事会のご承認
 - 2) 平成22年度事業計画（案）についてご承認

- 3) 平成22年度収支予算（案）についてご承認
 - 4) 新公益法人移行後の新定款（案）について協議
 - 5) 新定款案対応の「役員および評議員の報酬等並びに費用に関する規程（案）」について協議
 - 6) 新定款案対応の「協力会員に関する規程（案）」について協議
 - 7) 最初の評議員選定委員会設置規則（案）について理事会のご承認
 - 8) 最初の評議員選定委員会の評議員選定委員の選任（案）について理事会のご承認
5. 新公益法人制度移行に関して、新定款案及び協力会員に関する規程案へのご意見をお伺いし、多くのご提言をいただきました。

以上

平成22年度 収支予算書 (増減計算方式) <<総括表>>

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

単位：千円

科 目	22年度予算額	21年度予算額	差 額
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収益	10	10	0
②事業収益	183,423	286,136	△102,713
学生宿泊事業収益	113,933	112,000	1,933
セミナー事業収益	6,378	22,380	△16,002
留学生支援事業収益	12,420	12,150	270
社会人宿泊事業収益	45,150	54,250	△9,100
食堂事業収益	0	77,280	△77,280
土地等貸付事業収益	5,542	8,076	△2,534
③受取補助金等収益	200	5,000	△4,800
④受取会費・寄附金収益	51,990	52,800	△810
会員会費収益	50,880	51,700	△820
千人会会費収益	1,010	1,000	10
寄附金収益	100	100	0
⑤雑収益	10	10	0
経常収益計	235,633	343,956	△108,323
(2) 経常費用			
①学生宿泊事業費	123,003	128,522	△5,519
人 件 費	29,015	25,402	3,613
事 業 費	93,988	103,120	△9,132
②セミナー事業費	23,670	31,625	△7,955
人 件 費	17,021	19,067	△2,046
事 業 費	6,649	12,558	△5,909
③留学生支援事業費	18,321	13,914	4,407
人 件 費	6,004	5,692	312
事 業 費	12,317	8,222	4,095
④社会人宿泊事業費	40,917	42,917	△2,000
人 件 費	9,025	8,191	834
事 業 費	31,892	34,726	△2,834
⑤食堂事業費	0	78,093	△78,093
食堂事業直接費	0	32,508	△32,508
人 件 費	0	32,699	△32,699
食堂事業間接費	0	12,866	△12,866
⑥土地等貸付事業費	1,558	1,328	230
人 件 費	1,163	1,000	163
事 業 費	395	328	67
⑦管 理 費	15,792	18,704	△2,912
人 件 費	9,063	10,295	△1,232
事務管理費	6,729	8,409	△1,680
経常費用計	223,261	315,103	△91,842
当期経常増減額	12,372	28,853	△16,481
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	833,835	804,982	28,853
一般正味財産期末残高	846,207	833,835	12,372
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	846,207	833,835	12,372

平成21年度 宿泊業務報告

◇年間の宿泊利用者数33,471人

平成21年度の宿泊利用者数は延べ33,471人で、前年度が35,268人でしたので1,797人の減少でした。

春から秋にかけては新型インフルエンザの影響でキャンセルも多数出ましたが、それでも上半期は前年度を上回る利用がありました。しかし、下半期の特に11月、1月の利用数が大幅に減少し、毎年この時期に実施している閑散期対策としての割引も利用率を上げる結果にはなりませんでした。また、セミナーハウス主催の教員免許更新講習も制度の見直しなどの影響で集客が難しく、残念ながら12月は中止となりました。経済情勢の不安定さ、心配された新型インフルエンザの影響も下半期の減少につながったと考えられます。

◇区分別利用状況

宿泊延人数全体に占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

表1 宿泊延人数

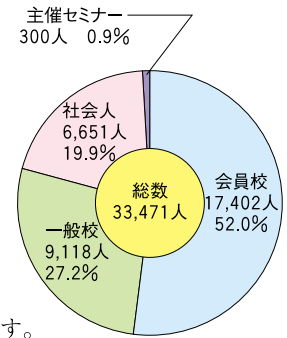
区 分	平成21年度		平成20年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会 員 校	17,402人	52.0%	15,058人	42.7%
一 般 校	9,118人	27.2%	10,985人	31.2%
社 会 人	6,651人	19.9%	8,444人	23.9%
主催セミナー	300人	0.9%	781人	2.2%
合 計	33,471人	100%	35,268人	100%

通常ご利用団体を会員校団体、一般校団体、社会人団体に区分し、その区分に応じた宿泊、研修室料金でご利用いただいております。しかし、5月に団体区分の見直しを実施し、社会人団体に含まれていた教育學術団体等を一般校団体に、一般校団体に含まれていた会員校附属校団体等を会員校団体

に移行し、教育関係の方の利用を促進するために利用料金の軽減を図りました。その結果会員校の延人数が増加し構成比が52.0%となり、逆に社会人の延人数が減少し構成比19.9%、一般校は27.2%、主催セミナー0.9%になりました。

したがって、社会人を除いた教育関係の構成比が80.1%になり、多数の学生と教職員の方々へ前年度より安い料金でご利用いただいた事になります。

図1 利用区分構成比



◇宿泊の年間稼働率は33.8%

本年度の当ハウスの稼働日数は、年末年始の休館7泊分を除いた358日で、宿泊室（宿泊定員277人）の年間平均稼働率は33.8%でした。

なお、ご参考までに本年度最多利用会員校を紹介します。(表2)

表2 協力会員校最多利用10校

順位	大学名	宿泊延人数(人)	順位	大学名	グループ数
1	早稲田大学	1,644	1	中央大学	37
2	首都大学東京 東京都立大学	1,260	2	首都大学東京 東京都立大学	34
3	中央大学	1,054	3	日本大学	32
4	日本大学	891	4	早稲田大学	31
5	創価大学	811	5	法政大学	21
6	東洋大学	764	6	明星大学	20
7	明治大学	703	7	明治大学	19
8	法政大学	671	8	東洋大学	18
9	慶応義塾大学	611	9	駒澤大学	17
10	青山学院大学	605	10	慶応義塾大学	15

ご利用ありがとうございました

(平成21年10月～平成22年3月)

* = 同月2回利用
** = 同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)
○ 新入生オリエンテーション
敬称略

■10月(63グループ、延1,431人)

- 地球化学若手シンポジウム
- 首都大学東京大学院交通計画ゼミ
- 聖心女子大学 永井里実
- 日本女子大学 上田彩子
- お茶の水女子大学 小林 誠
- 八王子偏微分方程式研究会
- 首都大学東京社会人類学研究室
- 早稲田大学芸術学校
- 日本大学 大井真二
- 東京大学梅壺ゼミ
- 日本生物工学会
- 学習院大学フランス会部
- 上智大学STP室蘭
- 上智大学STP
- 桜美林大学 松尾昌宏
- 筑波大学附属小学校自主研究会
- 早稲田大学 那須 壽
- 早稲田大学 渡辺仁史

- A SEED JAPAN
- 電気通信大学 寺田 実
- 創価大学キャリアセンター
- 東京工科大学キャリアサポートセンター
- 東京大学 島蘭 進
- 早稲田大学 早田 宰
- 東京工業大学・東京理科大学合同セミナー
- 東京都立新宿高等学校
- 東京薬科大学キャンパ7班
- 共立女子大学 阿部圭子
- 日本文化大学 村松伸治
- 大学人コミュニケーション力養成セミナー
- あしなが育英会
- 神田外語大学英米語学科
- 杉森クラブ
- KSDマンドリンアンサンブル
- (株)オザムレジャー事業部*
- ラフターヨガジャパン
- ダンスオブライフ
- 林間つきみ野教会
- 日本キリスト教団豊島岡教会
- JENESYSフルネイ1陣
- アンサンブル・コナン
- ホワイトホースシアター
- アジレントテクノロジーインターナショナル(株)
- カテナ(株)
- プロセスファシリテーションプロジェクト
- (株)東芝電力システム社電力・社会システム技術開発センター

- コニカミノルタ労働組合八王子支部
- 国際福音キリスト教会
- 第51回大学教員セミナー
- 個人利用
- 帝京大学受験生
- 創価大学スクーリング生
- 明星大学スクーリング生
- 八王子市立宮上小学校
- 日帰り利用
- 首都大学東京ZIPNG**
- トム&スージーファクトリー
- ひの炭やきクラブ
- 多摩動物公園炭やきクラブ

■11月(60グループ、延2,067人)

- 駒澤大学マスコミュニケーション研究所
- 中央大学 甲斐義幸
- 青山学院大学 寺東寛治
- 駒澤大学 清滝仁志
- 東京学芸大学教育社会学研究室
- 中央大学長谷川ゼミ
- 慶應義塾大学 長谷部史彦
- UCRコミュニティサービスイノベーション
- 学校法人創価学園創価高等学校
- 首都大学東京 小林克弘
- 中央大学エンカレッジ
- 明星大学 小貫 悟
- 東京外国語大学 受田宏之
- 日本ゲノム微生物学会

創価大学キャリアセンター
アイセック・ジャパン
青山学院大学 ロビンソン.P.J
バイオマテリアル若手研究会
法政大学 小椋正立
アイセック早稲田大学委員会
中日ボランティア協会
東京学芸大学 斎藤一久
神田外語大学英米語学科
玉川大学 山口栄一
東京薬科大学鍋研
目白大学 青木宏心
東京神学大学2009年度修養会
東京恩寵教会青年会
愛知大学軟式野球部
名鉄学園杜若高等学校野球部
亜細亜大学国際文化局
東都学生軟式野球連盟
新求道共同体
GSU
大東建託(株)
(株)オザムレジャー事業部
ツリーマスタークライミングアカデミー
(株)ダイテック
麻麻
(株)ティラノ
名鉄学園杜若高等学校硬式野球部父母会
はすね福祉作業所
久遠キリスト教会聖歌隊
調布南キリスト教会
(株)日建設計
サンスクリット語クラス
(有)デボル
第6回古代史セミナー
第3回国際教養セミナー
第36回国際学生セミナー
日帰り利用
ツリーマスタークライミングアカデミー*
オペラソフトウェアインターナショナルAS
NPO木造建築文化総合センター
ひの炭やきクラブ
歌唱クラブ
帝京科学大学長谷川研究室
12月(67グループ、延1,885人)
桜美林大学 大道 卓
模擬国連駒場研究会
アイセック明治大学委員会
アイセック青山学院大学委員会
日本大学 森島 済
中央大学ボクシング部
日本大学 フランク・ロックハイマー
日本大学 湯浅正敏
桜美林大学 大中 真
日本女子大学英文学科
早稲田大学 河西宏祐
日本大学 別府三奈子
東京工科大学 苗村 潔
東京大学 福田慎一
帝京大学医学部事務部
東京学芸大学学生自治会
日本大学 藁谷哲也
日本大学経済学部バスケットボール部
日本大学 古田智久
上智大学 高山恵理子

白梅学園短期大学 土川洋子
東京工業大学 米崎直樹
首都大学東京B類テニス部
千葉大学先進科学センター
Field Assistant Network
中央大学国際教育分科会
PJS(就職活動サークル)
工学院大学 吉田俤郎
数論セミナー
社会学合同ゼミ
種生物学シンポジウム
国際物理オリンピック代表候補者合宿
八王子高等学校
東京都立小山台高等学校
社会福祉法人新中原保育園世田谷つくしんぼ保育園
東京薬科大学ハルモニア管弦楽団
東京薬科大学キャンプ
東北大学 五十嵐太郎
文学教育研究者集団
AITC(英語集中訓練合宿)
個別指導塾トリムスタディ
東京薬科大学薬学部・生命科学部
ものづくり大学 三原 斉
日本山村硝子(株)
大東建託(株)
コニカミルタ労働組合八王子支部
環境問題研究会
(株)スプリード
(株)ガリバー東大和店
(株)ガリバー立川店
ツリーマスタークライミングアカデミー*
個人利用
明星大学スクーリング生
中央大学受験生
日帰り利用
ツリーマスタークライミングアカデミー*
首都大学東京都市建築コース
東京八王子ワイズメンズクラブ
帝京大学吹奏楽団
多摩動物公園炭やきクラブ
首都大学東京B類・トミントンサークル
11月(30グループ、延714人)
日本大学 杉森知也
特定領域研究「新量子相の物理」A02班研究会
日本大学 山田 寛
日本大学法学部ゼミ
首都大学東京ジバングループ
法政大学・埼玉大学
慶應義塾大学 玉村雅敏
立教大学 石垣 直
首都大学東京生命科学コース
駒澤大学 瀬戸岡紘
日本女子大学附属高等学校
アイセック・ジャパン
駒澤大学 中野達哉
和歌山大学 越野章史
国土館大学 木原英逸*
日本学生オリエンティング連盟
玉川大学学生会東京山梨ブロック
ラフターヨガジャパン
(社)青年海外協力協会*
(株)アールシー総研
(社)日本プロモーション・マーケティング協会
ツリーマスタークライミングアカデミー

(有)デボル
日帰り利用
ツリーマスタークライミングアカデミー
集英社メンズノン編集部
2月(69グループ、延2,140人)
中央大学 鳥居伸好
明治大学 大須賀直子
中央大学法律勉強会
桜美林学園生協学生委員会
東洋大学はばたき
創価大学国際連合研究会
青山学院大学 寺東寛治
国際基督教大学劇団黄河砂
東洋大学 太矢一彦
日本大学 高橋陽一郎
上智大学SCS
中央大学混声合唱こだま会
桜美林大学 穂田照子
青山学院大学 白井邦彦*
法政大学 廣川みどり
アイセック早稲田大学委員会
日本大学 代田剛彦
早稲田大学 田中孝彦
早稲田大学 吉野 孝
立教大学シアターラタン
日本大学 福島康仁
早稲田大学雄弁会
中央大学キリスト者学生会
日本大学 川又 祐
アイセック明治大学委員会
創価大学経済学部*
明治大学 塩沢恵理
東京農工大学 宮浦・稲田研究室
法政大学キャリアデザイン学部
上智大学演劇同好会みやことり
六大学合同セミナー
東京外国語大学 粟屋利江
明治大学 竹下俊郎
東京都市大学学生団体連合会
電気通信大学生協学生委員会
日本大学 中邨良樹
東洋大学 遠藤喜佳
中央大学 平野 健
日本大学雄弁会
桜美林大学 高橋真義
早稲田大学 森本豊富
恵泉女学園大学教職課程ディキャンブ
東京学芸大学大学院英語教育
中央大学 横湯園子
明治学院大学心理学部
東京薬科大学キャンプ
聖学院大学キリスト教センター
聖学院大学ハンドベルクワイアー
VOCES FIDELIS
万国デフ・バプテスト福音伝道協会
ガンバ協会
石川千鶴記念会
(有)和
CCY(コレギウム カントールム ヨコハマ)
(株)KSKテクノサポート
男声合唱団東京リダーターフェル
(株)アールシー総研
(有)デボル
個人利用

帝京大学受験生

日帰り利用

ソリーマスタークライミングアカデミー**

ひの炭やきクラブ

アポロ美容理容専門学校

中山の里山を愛する会

■3月(95グループ、延3,577人)

東京工科大学吹奏楽団

日本大学 岸田 真

春の小セミナー2010

法政大学 原 伸子

ICUクロークラブ

帝京大学東洋医学研究会

早稲田大学 菅野 純

東京経済大学文化会本部

明治大学 高橋信勝

中央大学 高橋由明

中央大学辞達学会

日本ラクロス協会

○明星大学電気電子システム工学科

中央大学 清水克洋

人間工学会システム大会

法政大学 金原瑞人

東京学芸大学国分寺子どもクラブ

ソフィアラケットボールクラブ

明治大学雄弁部

電気通信大学 寺田 実

駒澤大学 姉齒 暁

首都大学東京 江原由美子

上智大学外国語学部英語学科ヘルパー

東京外国語大学ロシア語劇団

ICU祭実行委員会

東京工業大学将棋サークル

慶應義塾大学カデンサフィルハーモニー

中央大学英語学会

東洋大学 川瀬晃弘

青山学院大学フリーバード

千葉大学 工藤秀明

日独フォーラム

青山学院大学 中澤進一

明星大学 小貫 悟

首都大学東京B類テニス

法政大学りんごの木

青山学院大学 土山實男

立教大学 疋田康行

法政大学 飯田 隆

帝京大学医学部事務部

東京工業高等専門学校

横浜国立大学 小川慎一

明治大学 森 久

日本大学 福田弥夫

青山学院大学 松尾孝一

チームESD創価大学

東京学芸大学 山田有策

明星大学 露木恵美子

東京外国語大学学生協委員会

明治大学 大胡 修

大学人コミュニケーション力養成セミナー

横浜ゼミナール

八王子子ども劇場

大宮法科大学院大学

あしなが育英会学生募金事務局

学生説教塾

多摩美術大学リーダーズキャンプ

桐朋中学校高等学校

杏林大学 倉林秀男

樹の会ユースクワイア奏

都留文科大学 田中 実

科学勉強会

現代と経済

国際物理オリンピック代表候補者合宿

文学教育研究者集団

特別非営利活動法人日本国際教育大学連合(JUCTe)

相模原フィルハーモニー管弦楽団

(株)スリーボンド

フェイスフィルハーモニー管弦楽団

(株)菱食

(株)日本ブレースメントセンター

法政大学アイデンティティ基礎演習

ラフターヨガジャパン

(株)オザム流通部

(株)オザムレジャー事業部

アマノ企画

(株)エコス

(株)九州屋

個人利用

(株)たいらや

日帰り利用

多摩動物公園炭やきクラブ*

次世代ゼミファインズ

ソリーマスタークライミングアカデミー*

八王子市立中山小学校6年

高嶺小学校をいっわう会

2009年度後期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
第3回 FD研究会 [共催：日本大学]	11/21	FD組織化の現状と課題	今泉柔剛(文部科学省) 小田隆治(山形大学) 安岡高志(立命館大学)	150
第51回 大学教員セミナー	10/17~18	留学生問題のいまとこれからを考える	中嶋嶺雄(国際教養大学) 江崎典宏(文部科学省) 山本 甫(関西外国語大学) 横田雅弘(明治大学)	42
第6回 古代史セミナー	11/7~8	日本古代史・新考・自由自在(その二)	古田武彦(歴史学者・元昭和薬科大学教授)	74
第3回 国際教養セミナー	11/14~15	曲がり角のアメリカ	久保文明(東京大学) 小檜山ルイ(東京女子大学) 岡山 裕(慶応義塾大学) 佐々木卓也(立教大学) 古矢 旬(東京大学)	34
第36回 国際学生セミナー	11/28~29	アメリカ発世界経済危機と現代世界	小倉和夫(国際交流基金) 五十嵐武士(桜美林大学) 長部重康(法政大学) 浦田秀次郎(早稲田大学) 中兼和津次(青山学院大学) 宇野重規(東京大学)	34
第1回 留学生論文 コンクール2009	募集期間 6/1~10/31	日本人との交流の中で考えていること (2,000字~4,000字程度)	主催：(財)大学セミナーハウス、 留学生新聞 協賛：桜美林大学、聖学院大学、千人会 後援：文部科学省、外務省、国際交流基金	応募 101本

会費をありがとうございました

平成21年10月～平成22年3月 (敬称略)

松田千鶴子、吉原健吾、安達義明、関本昌秀、小林善彦、並河一道、木畑洋一、酢屋善元、小田中敏男、滝口 亨、前川真理、鈴木一道、高橋三郎、佐藤東洋士、山田耕司、牧内操、小田 滋、松岡八郎、宇野重昭、田島澄江、角尾 稔、篠崎啓助、田村皖司、鈴木順子、大瀧祐子、川鍋正敏、熊川 忠、戸張よし子、有馬弥子、布施涛雄、外間 寛、梶木隆一、外池孝雄、木下是雄、近藤 保、城 謙輔、大須賀節雄、青木生子、福井憲彦、尾田幸雄、小林澈郎、山岸 健、米満 澄、澤孝一郎、池田 温、有山正孝、松本幸一、生山智己、森 久、小西正捷、横沼健雄、吉田 豊、石田孝夫、青柳総太郎、中野斉子、小谷正博、平野健一郎、三浦安子、中西 治、川端香男里、柳澤富雄、出光直樹、池井 優、大澤恵美子、慶谷壽信、佐藤音彦、鈴木 皇、堀井啓幸、松山正男、大森東亜、小山弘志、新井 明、川崎正三、武田昌輔、乾 崇夫、柳父園近、北原文雄、茅野良男、根岸愛子、後藤敏明、風間邦光、海老沢信一、本田和子、小林一彦、福永壽巳夫、磯 直道、泉 敏彦、馬越 徹、塚本利明、蓮見音彦、麓 信義、肥前榮一、高松正昭、中村妙子、勝見允行、小幡史朗、白川和雄、島田治夫、佐藤公孝、島海保子、柴田泰比古、新保清子、手塚喬介、平野由紀子、福田一郎

会員からのメッセージ

- ◆少しずつですが、社会貢献に戻したいと考えています。いずれにしても中堅層は家計がひっばくして、なかなか余裕がありませんが、原点を探したい時にセミナーハウスを再訪しています。 吉原健吾
- ◆誕生日祝いありがとうございました。小田中敏男は目下療養中です。代って老妻が少しばかり送金させていただきます。 小田中フミ
- ◆毎年のように本年も印象的なパースカードをお送りいただき、ありがとうございます。貴大学セミナー・ハウスのご発展をいつもお祈りしております。 前川真理
- ◆誕生日カードありがとうございました。厚く御礼申し上げます。85歳となりましたがおかげさまで相変わらず消光しております。大学セミナーハウスの皆様には御健勝にて一層御活躍下さいますよう祈念しております。 松岡八郎
- ◆「空から見た大学セミナーハウス」印象深く拝見しました。一度ユニットハウスの姿を見て歩きたいと思っています。 宇野重昭
- ◆セミナーハウスの充実、発展を嬉しく思っています。 角尾 稔
- ◆若き日の英語会を50年振りに再編成し、活動を再開してすでに10年、そのEvergreen Elderlyから現役時代の教師活動を総括したらの要請があり、現在そのまともにとりかかっています。この作業に従事している中で、大学セミナー・ハウスに20年わたってお世話になったことを想起し、改めて大いなる感謝の気持ちを新たにしています。ありがとうございました。(2009.11.4) 田村皖司
- ◆お陰様で元気に過ごしております。 鈴木順子
- ◆誕生日祝いのお葉書ありがとうございます。さくら館の今年の入居者数は3万人を超えたとのこと、それだけ多くの人たちに利用されていることを嬉しく思います。 熊川 忠
- ◆大学セミナーハウスが、益々充実発展している状況をおよこび申し上げます。この度89歳の誕生日を迎え、前著作集12巻の補巻(一)『万葉にみる女・男』を刊行、さらに補巻(二)を予定しています。ご報告まで。 青木生子
- ◆傘壽の誕生日カード有難く拝受いたしました。顧みて一向成熟の域に達しないことを恥ずるのみ“読むよろこびと聴く楽しみ”の生活が続けられることを感謝しております。過日は久々にGewandhausの大編成のオーケストラでマーラーを楽しんできました。 小林澈郎
- ◆2009年12月6日(日)大学セミナーハウスへ。社会学合同セミナーの30回の記念セミナーに参加でき、幸せな日でした。この合同セミナーは、セミナー・ハウスの大切なモニュメントのひとつです。 山岸 健
- ◆例年の誕生日の祝いのエハガキ有難う存じます。大学セミナーハウスの着実な発展を期待しています。池田 温
- ◆今年も3月28日(日)～29日(月)にまいります。桜を見ることができのでしょうか。楽しみにしております。 森 久
- ◆大学セミナーハウスの、ますますの御発展をおいのりいたします。横沼健雄
- ◆2010年は国民読者年、言語力＝「読む」「書く」「聞く」「話す」セミナーハウスのはたす役割も……。 青柳総太郎
- ◆2009年3月末定年退職いたしました。セミナーハウスで学ばせて頂いたことを深く感謝いたしております。 三浦安子
- ◆2008年3月に日本の大学での教育を終え、それ以後、特定非営利活動法人地球宇宙平和研究所の研究者として研究・教育に従事しています。中国・朝鮮・キューバ・ベトナムを訪問し、2010年には久しぶりにロシアに行きます。ポスト・ソビエト期の社会主義について学んでいます。 中西 治
- ◆B会員会費を送金申しあげます。一月五日 不 慶谷壽信
- ◆昨年、東大教養学部創設60年記念に際し大学セミナーハウス叢書第1巻『人生の選択』(矢内原忠雄の生涯)を復刊しました。学生諸君に読むことをすすめます。 鈴木 皇
- ◆福祉学部に入って5年目。父の介護をきっかけに初めて実践的に福祉を学び始めた感じです。単身赴任には厳しい現実です。 堀井啓幸
- ◆大学セミナー・ハウスの御発展を心よりお祈り申し上げます。昔、お世話になった者たちの再会のパーティーを期待しています。(ホーム・カミングデイ) 松山正男
- ◆C会員会費お送り申し上げます。 小山弘志
- ◆還暦をすぎても、働く場と健康に感謝する日々です。(いつもの誕生日カードが無かったのが淋しいです) 川崎正三
- ◆各大学にセミナーハウスが創られてきた今日、セミナーハウスの先鞭をつけた貴組織がその特色を発揮されてゆかれることを期待しております。 北原文雄
- ◆1月にセミナーのキャンパスを散歩。黄色の「ろうばい」がとてもきれいでした。四季折々の花の美しさもセミナーの魅力です。 海老沢信一
- ◆S59年がとても懐かしいです。本質への道、人間存在そのものが問われている時代だからこそ基礎の基礎がとても大切。またセミナーハウスへ。 小林一彦
- ◆視力がおとろえましたが、まずは健康に75才を迎えました。セミナーハウスのご健在を祈ります。 肥前榮一
- ◆2010年3月に退職します。1968年に助手として採用されてから42年経過しました。物理的には長いのですが、心理的には短い42年間でした。ゼミ学生と合宿し、他大学の学生と交流した楽しい思い出をセミナーハウスは与えてくれました。感謝いたします。 高松正昭
- ◆昨年、若い宣教師夫妻を招き、老骨へのムチがいくらか弱くなりました。感謝。 小幡史朗
- ◆今年も元気で誕生日を迎えられることを感謝しています。貴ハウスのご発展を祈り上げます。 島田治夫
- ◆誕生日をお祝い下さり、ありがとうございます。 佐藤公孝
- ◆インターネットで四季おりおりのキャンパスの動向を拝見、とくにFaculty Development活動など、私どもが持ち上げたので嬉しいです。 福田一郎

2010年度 開催セミナー

主催セミナー名	日 程	テ ー マ
第4回 FD研究会	6/26(土)	大学の教育情報公開はいかにあるべきか
第5回 FD研究会	未定	企画
第22回 大学職員セミナー	7/9(金)～10(土)	大学の新たな教育—キャリア開発支援と職員の役割—
第23回 大学職員セミナー	11/26(金)～27(土)	質保証の新たな展開と職員の役割
第52回 大学教員セミナー	10/16(土)～17(日)	全入時代の大学教育のあり方
第4回 国際教養セミナー	10/16(土)	フランスにおける日本文化のあり方
第37回 国際学生セミナー	10/23(土)～24(日)	日米中三角関係の外交を考える
第7回 古代史セミナー	11/6(土)～7(日)	日本古代史 新考 自由自在(その三)
第2回 留学生論文 コンクール2010	募集期間 5/1(土)～10/15(金)	留学生が考える地球的問題(グローバル・イシュー)

☆詳細が決定次第、ホームページでご案内致します <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み

TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

メールマガジンを週1回発行しております。ご希望の方は上記メールアドレスにてお申込下さい。

○寄贈図書ほか (2009年10月～2010年3月)

アジアの現代文芸タイ⑤「幻想の国」

(財)大同生命国際文化基金

「東京大学大学院教育学研究科紀要」第49巻

東京大学大学院教育学研究科

アジアの現代文芸ミャンマー⑦「ティンパーミン短編集」

(財)大同生命国際文化基金

「Quadrante」No.11 東京外国語大学海外事情研究所

「人文論集」2009 XLVⅢ 早稲田大学法学会

「改革者」9.2009

中嶋嶺雄

「早稲田法学会誌」第六〇巻二号 2010

「カ農」(カノン)

篠田節子

早稲田大学法学会

「도피행」(逃避行)

篠田節子

館長室から 大学セミナーハウスの近況

講堂と大学院セミナー館の間に新しい建物を建てた。トイレ棟である。この地区にトイレが少なく、利用者の皆様に不便をおかけしてきたが、この度東京都から補助金を得て、立派なトイレ棟を建てる事が出来た。袋井市久能にある「可睡齋」という寺には、「日本一の大東司」と呼ばれる立派なトイレがあるのを御存じだろうか。大学セミナーハウスのトイレ棟は、格調と規模においては負けるが、機能面では圧勝である。

大学セミナーハウスでも、本格的にクレジットカードの利用を歓迎することにした。最近、クレジットカードや電子マネーで支払いをすることが一般化し、私自身も現金で支払う機会が非常に少なくなっている。国立大学の附属病院の支払いがクレジットカードで出来る時代である。海外に行く場合にも、2～3万円両替していけば十分である。事程左様にカードが普及した時代にあっても、「現金主義」を貫いてきた大学セミナーハウスが、ついにカード社会の一員になった。

公益法人制度改革が実施されたことを受けて、大学セミナーハウスは、今後の運営に不可避であるとの判断に基づき、公益財団法人への移行を申請することにした。そのためには、公益事業の比率を高める必要があるため、4月1日より、食堂事業を外部委託にした。受託業者に「現状維持」を条件に引き受けて貰うことが出来たので、利用者の皆様はこの変化に気付かれないかも知れない。

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

制編発 行セ
作集人 行ニ
||八|| 2010年5月発行
||王|| 荻上紘一
||子|| セミナーハウス企画広報課
||エ|| セミナーハウス
||イ|| 企画広報課
||ち|| のへ